

オーチャードグラス

春および秋の収量性と越冬性に優れる

早生品種 「はるねみどり」

「はるねみどり」は、春と秋の収量性に優れ北海道と東北の各地で安定した越冬性を示す。採草利用を中心に放牧にも利用できる。

- 出穂始めは、「ワセミドリ」より約1日遅い早生品種です。
- 越冬性は、「ワセミドリ」より優れます。
- 春の収量性は、「ワセミドリ」よりやや優れ、秋の収量性は「ワセミドリ」より優れます。



出穂期の「はるねみどり」

○栽培適地

北海道全域と東北北部

「はるねみどり」の主な特徴

1. 出穂始めは、「ワセミドリ」より1日遅い早生です。
2. 越冬性は、「ワセミドリ」より優れます（図1）。
3. 採草利用における1番草収量は「ワセミドリ」よりやや多収で、4番草収量は「ワセミドリ」より多収です（図2）。
4. マメ科牧草（アルファルファ、アカクローバ、シロクローバ）との混播では、良好なマメ科率（20～30%）を維持できます。
5. 採草利用を中心に放牧にも利用できます。
6. 栽培適地は、北海道全域と東北北部です。

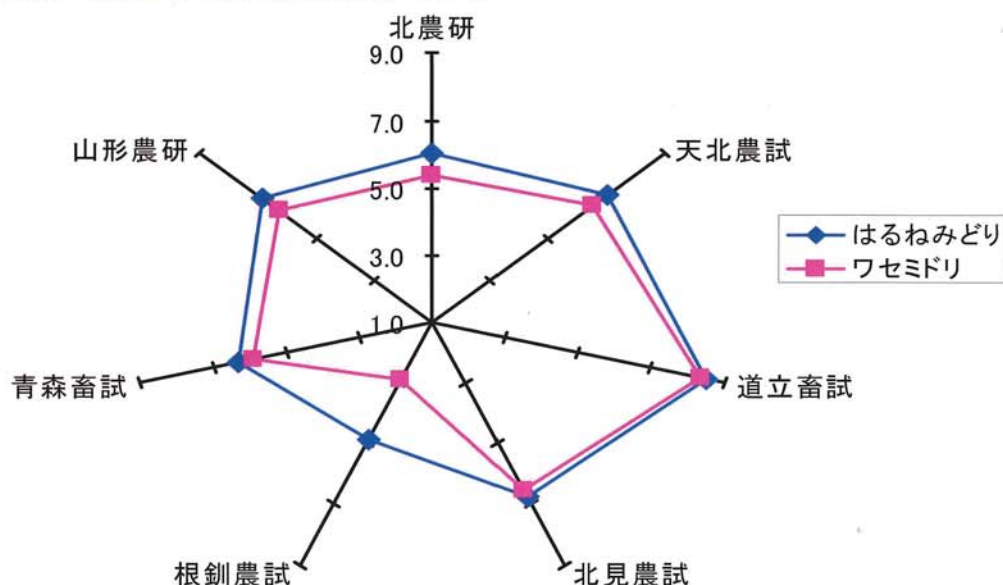


図1. 「はるねみどり」の越冬性(2か年の平均)
注)越冬性:1(極不良)－9(極良)。

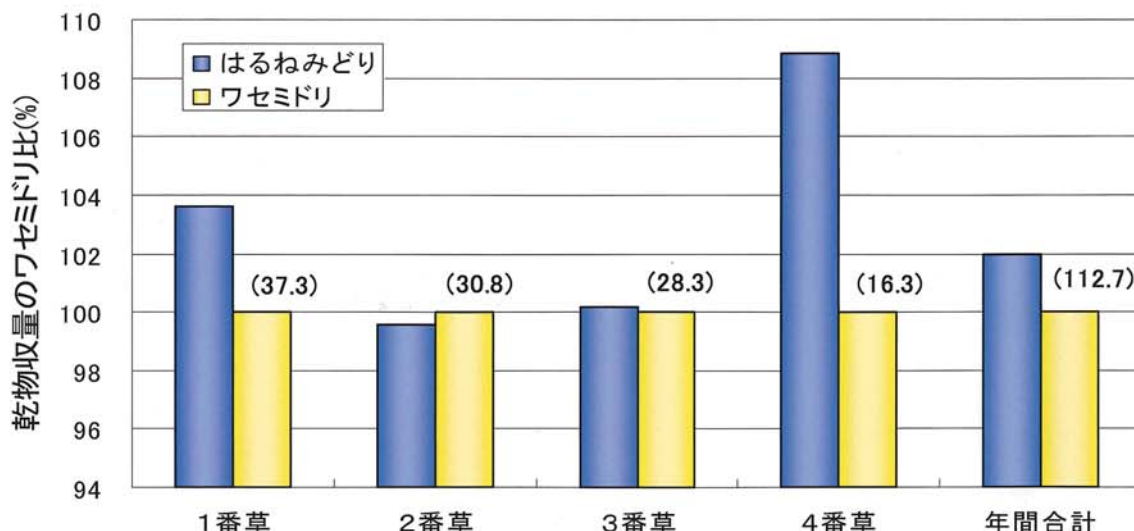


図2. 「はるねみどり」の番草別乾物収量(道内5場所2か年の平均)
注)()はワセミドリの乾物収量(kg/a)。

【育成機関】 お問い合わせ先：

(独)北海道農業研究センター 酪農研究領域

飼料作物グループ TEL 011-857-9273